

事業優先順位		1 細事業: 新生児妊産婦訪問指導事業						整理番号					
								02					
目的	新生児・乳児ならびに妊産婦に保健師・助産師が家庭訪問を行い、育児支援や、虐待の早期発見をおこなうことを目的とする												
目標	新生児・乳幼児・妊婦に対して、保健師・助産師などが訪問指導を実施し育児不安の軽減に努める。訪問できない場合は、虐待予防の観点から全数の状況把握に努める。												
事業実施主体	直営	事業開始年	平成9年度	根拠法令	母子保健法11条・17条								
事業費・財源	財源内訳			平成25年度	平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数			平成25年度	平成24年度	比較	
		事業費(決算額)(千円)		2,135	2,488	-353		総コスト(千円)		11,284	14,787	-3,503	
		一般財源		1,070	755	315		内訳	事業費		2,135	2,488	-353
		国府支出金		1,065	1,733	-668			人件費		9,149	12,299	-3,150
		地方債		0	0	0			公債費		0	0	0
		その他特定財源		0	0	0		一人あたり(円)		101	131	-30	
				0				世帯あたり(円)		239	314	-75	
				0				参考	職員数(人)		1.20	1.55	-0.35
				0					再任用職員数(人)		0.00	0.00	0.00
		今後の方向性	関係機関との連携を深め、妊娠中から早期の支援が開始できるようにする。										
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	妊産婦・新生児・乳児								
	A	A	B										

事業優先順位		8 細事業: 両親教室事業						整理番号					
								08					
目的	妊婦やその配偶者を対象に、教室に参加することで親準備性を高め、母子の健全育成を図ることを目的とする												
目標	配偶者の参加が増えていることから、土曜日の教室開催回数を増やし安心・安全な出産を妊婦と配偶者が共に迎えられるように支援を充実させる。												
事業実施主体	直営	事業開始年	平成9年度	根拠法令	母子保健法 第9条・10条								
事業費・財源	財源内訳			平成25年度	平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数			平成25年度	平成24年度	比較	
		事業費(決算額)(千円)		379	463	-84		総コスト(千円)		3,429	4,669	-1,240	
		一般財源		379	463	-84		内訳	事業費		379	463	-84
		国府支出金		0	0	0			人件費		3,050	4,206	-1,156
		地方債		0	0	0			公債費		0	0	0
		その他特定財源		0	0	0		一人あたり(円)		31	41	-10	
				0				世帯あたり(円)		73	99	-26	
				0				参考	職員数(人)		0.40	0.53	-0.13
				0					再任用職員数(人)		0.00	0.00	0.00
		今後の方向性	教室の開催日を、参加者の要望にあわせて計画していく。										
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	妊婦(基本的に初妊婦)とその配偶者								
	A	A	B										

細事業：新生児妊産婦訪問指導事業

1. 妊婦訪問指導事業

母子手帳の交付を受けた妊婦に対して訪問を行い、妊婦健康診査受診券の使用方法や、妊娠に関する不安や疑問に応じ不安の軽減に努めた。また、虐待の早期発見のためハイリスク妊婦を把握し支援を行った。

2. 新生児訪問指導事業

新生児を対象に家庭訪問を実施し、保護者の育児不安の解消と、疾病の早期発見に努めた。

3. 乳幼児訪問指導事業

乳幼児健康診査後のフォローや、関係機関からの連絡、保護者からの連絡等により、保健師・管理栄養士・歯科衛生士が訪問を実施した。

<訪問指導の状況>

事業	実人数(人)	延べ人数(人)
妊婦訪問指導	117	131
産婦訪問指導	629	682
新生児訪問指導(未熟児を除く)	77	81
乳児訪問指導(新生児・未熟児を除く)	594	679
未熟児訪問	73	95
幼児訪問指導	135	186

細事業：両親教室事業

1. ママパパ教室

妊婦やその配偶者を対象に、医師・歯科医師・助産師・保健師・管理栄養士・歯科衛生士が、妊娠、出産、育児及び歯科保健に関する知識を伝達・普及するために実施した。虐待予防のため、ゆさぶられ症候群* 防止の啓発も行った。

また、就労妊婦・父親の参加を促すために、土曜日にも実施した。希望される父親には妊婦体験ジャケットの装着を行い、妊婦体験や沐浴体験を実施した。

<教室参加の状況>

ママパパ教室		開催回数(回)	実人数(人)	延べ人数(人)
参加者数		15	171	226
(内訳)	母親参加者数		105	160
	父親参加者数		63	63
	その他(祖父母など)		3	3

※ ゆさぶられ症候群
…乳児の身体を大きく揺ることにより網膜出血、硬膜下血腫またはクモ膜下血腫が引き起こされること。